

# 次代に残そう美しい静岡海岸 保全啓発業務

<平成20年度協働パイロット事業報告書>

実施期間 平成20年7月1日～21年3月2日

## <目次>

- 協働にあたり.....2P
- 実施事業・期間 協力機関 担当スタッフ.....3P
- パンフレットの制作・配布..... 4P
- 清掃活動(大浜海岸)(高松海岸) ..... 5P
- 清掃活動と花壇づくり(下島南花壇) .....6P
- 自然観察会「浜辺の宝探し」 野鳥観察会.....7P
- 野鳥観察会.....8P

静岡・海辺づくりの会



# 協働にあたり

## 【事業の目的】

静岡海岸の海辺や隣接の防風林、自転車道、国道150号沿いには、ゴミや放置車両などが所々に散乱し、観光・文化都市をめざす静岡市の表海岸としては、美観上あまり思わしくない状況にあります。このため地域住民や海岸を訪れる市民からは、それらのゴミや放置車両、雑草などを除去し、きれいな景観や自然環境を求める声が多く出ています。一方、安倍川河口の駿河区中島、西島、下島、高松方面にかけての海辺は、美しい砂浜が回復し、その広がってきた砂浜を追うようにして海浜植物が芽吹き、静かに自然が蘇ってきました。

私たちは静岡海岸のこうした現状を踏まえて、安倍川河口から大谷川放水路まで3,4kmの環境や海辺の利用について、地元町内会、利用者、海岸・道路等の管理者と一体となり、協働・連携して、「次代に残る美しい自然」と「人々の集まる海辺づくり」をめざす活動をしています。

今回、こうした事業活動をさらに広く啓発するため、静岡海岸の美しい自然を紹介した案内パンフレットの制作や清掃活動、花壇づくり、自然観察会などの事業活動を実施しました。

## 【事業の概要】

作成しました案内パンフレット「未来に残す美しい静岡海岸」は、美しい自然をコンセプトに、その海辺などで繰り広げられるロマンやドラマをアピールすることを主眼としました。

砂浜が回復し浜辺に蘇る海浜植物。安倍川河口に集まる野鳥たち。回復著しい美しい砂浜。懐かしい原風景が見られる松林。伊豆の山並みから昇る朝陽。潮風香る海辺など静岡海岸をとりまく自然のメカニズムを探ると共に、身近な海辺、砂浜、松林、太陽、海、植物、野鳥との関わりの中から、訪れる人々に安らぎや癒しを育むメンタルなスポットを再発見することを配慮しました。また清掃活動、花壇づくり、自然観察会については、「ゴミのない美しい静岡海岸」の町づくりには欠かせない事業活動を行いました。

## 【事業活動の課題】

全体的な活動に言えることですが、次の三つの大きな課題がありました。

一つは人材不足です。私たち会の会員は、個人会員58人、団体会員14社の計72人(社)です。会員は比較的多いのですが、例えば一つの事業をやる場合、どうしても一部のリーダーに仕事が偏ってしまい、そのリーダーを支える人材・スタッフが少ないことです。

二つ目は活動資金です。活動費は会員の年間会費約13万円とその他寄付金等でまかっていますが、正直のところ、この活動費だけでは年4回発行する会報の直接経費だけで無くなってしまふ勘定です。幸い今年度は静岡市からの委託事業や大口の寄付金等があったおかげで何とか乗り切れますが、今後の活動のことを考えますと、市や県から海岸の環境対策に伴う助成金、補助金などの支援事業を有効活用することが課題となると思われます。

三つ目は地域町内会との協力体制の強化です。現在私たちの会は中島学区連合町内会、大里東学区連合町内会との関係プレーが中心となっています。この関係をこれまで以上に強化する共に、近い将来に向けて静岡海岸に隣接する大谷学区連合町内会、久能学区連合町内会を含めた四つの連合町内会による一体的活動が必要になると考えられます。

## 【むすび】

平成20年度協働パイロット事業として、案内パンフレットの制作や清掃活動、花壇づくり、自然観察会という機会をいただいたことを改めて感謝申し上げます。

私たちは、あくまで静岡海岸や道路等の管理者(県・市)では、手が届き難い部分の活動を中心に、地域の美しい街づくりについてリーダーや同じ思いを持つ人々が地域という活動エリアにおいて環境について考え、行動していくことだと考えています。制作した案内パンフレットは地元町内会をはじめ、公共施設や近隣の小中学校の生徒たちに配布し、静岡海岸の美しい自然をアピールすると共に、清掃活動、花壇づくり、自然観察会などの環境美化活動を通じて、地域の人たちや子どもたちの情操教育や啓発活動の一助になれば幸いです。

## 実施事業・期間

### パンフレット「未来に残す美しい静岡海岸」の制作

- レイアウト原案、取材開始 20年7月～8月
- 割付・原稿作成、写真準備 20年8月～9月
- 第1次レイアウト原案作成 20年9月～10月
- 最終原案決定 20年11月
- 最終校正・印刷完了 20年12月
- 製品納入 21年1月

### 清掃活動

- 清掃活動(大浜海岸) 20年7月6日
- 清掃活動(高松海岸) 20年10月19日
- 清掃活動と花壇づくり(下島南) 20年10月19日
- 花壇づくり(下島南) 20年11月16日

### 自然観察会

- 自然観察会「浜辺の宝さがし」(大浜海岸) 20年11月30日
- 野鳥観察会(安倍川河口) 21年1月24日

### 事例発表会

- 県建設部主催・第5回「協働事例発表会」で協働事例を発表 21年1月25日
- ※参加者約260人、パンフレットの配布とともに、会全体で取り組んでいる清掃活動や自然観察会などの活動状況を発表する。
- 静岡市20年度協働パイロット事業で協働事例発表 21年2月25日
- ※参加者約50人 提案・採用された事例「自然が蘇る海辺、次代に残そう美しい静岡海岸」について、パンフレットの作成目的、情操教育や啓発活動の活用方法などを発表する。

## 協力機関

- ★静岡市生活文化局市民生活部市民生活課(協働パイロット事業委託者)
- ★静岡市環境局環境創造部清流の都創造課 ★静岡市建設局土木部河川課
- ★大里東学区連合町内会(下島南町内会・下島町内会・高松敷地町内会・高松二丁目町内会) ★中島学区連合町内会 ★静岡市大里生涯学習センター
- ★中島学区健全育成会

## 担当スタッフ

- 総括 岩崎隼四郎
- 企画・制作 古郡信介
- 運営・進行 久保井有代 杉本溥雄 岡村進 宮田優治 中野正昭  
大石雅子 岡崎義之 井田純夫 松永健蔵

# パンフレット「未来に残す美しい静岡海岸」 の制作・配布 制作期間 平成20年7月～12月

## 〔作成趣旨〕

美しい静岡海岸の自然環境を「次世代の人々に継承していこう」というコンセプトを軸に、写真や短文で、その海岸・海辺で繰り広げられるロマンやドラマを紹介しました。また海岸・海辺の自然景観は観光・文化都市をめざす静岡市の大きな財産。「未来へ残す美しい静岡海岸」が次代を担う大人や子どもたちに自然を大切にするメンタルな使命感や情操教育につながることを期待しました。

掲載内容は砂浜が回復し浜辺に蘇る海浜植物。安倍川河口に雄姿を見せる野鳥たち。回復著しい美しい砂浜。懐かしい原風景が見られる松林。伊豆の山並みから昇る朝陽。潮風香る海辺など八つのテーマを掲げ静岡海岸をとりまく自然のメカニズムを探り、また、かつて静岡海岸には富士山を望む白砂青松の砂浜が広がっていた。私たちのほんの身近な存在にある海辺、砂浜、松林、太陽、海、植物、野鳥とのふれあいの中から、訪れる人々に安らぎや癒しを育む新たなスポットを再発見することを意図としました。

★1面(表紙) 「静岡海岸の美」 <海辺・砂浜・松林・太陽・海・植物・野鳥>  
蘇る自然 安らぎの海辺

★2～3面(右開き) 「未来に残す美しい静岡海岸」

- ①海辺に蘇る海浜植物 ②安倍川河口はまさに野鳥の楽園
- ③はっきりと回復してきた美しい砂浜 ④懐かしい風景が見られる松林や海辺
- ⑤朝陽は夢や希望を抱く若者の躍動感だ ⑥多種多様な駿河湾の魚類
- ⑦広がる海岸のグリーンアップ運動 ⑧どんと焼き・山田長政

★4面(終面)

静岡海岸の案内マップ

〔印刷部数〕 1,500部

## 〔主な配布先〕

- 公共施設・関係機関 330部  静岡海岸に隣接する周辺町内会・住民 620部
- 他団体主催の事例報告会 250部  会員・その他 300部

※増刷により静岡海岸に隣接する小・中学校の生徒約3,000人に配布することを検討中。

